

北米合衆國紐育ナショナルバンクたるアルバニー銀行は1803年以來の舊建築物であるが、今回新ビルディングを建築されるに就て舊ビルディングの正面(Facade) 丈けを新ビルディング正面入口に利用し、永遠に記念する事に決定された。

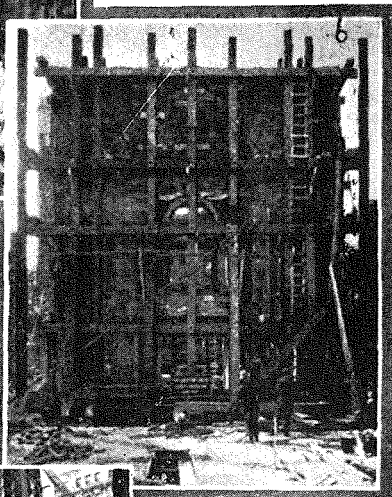
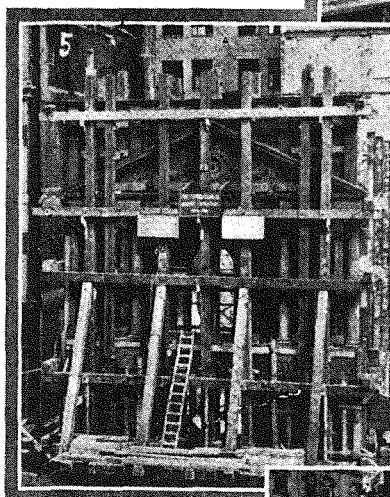
舊ビルディングは1803年9月創立以來今日まで銀行として使用して來た由緒ある建物で其の當時有名なる建築技師ワイリツプ、フウカー氏の設計で、ニュージャー洲ベルビュー工場の褐色石にて建てたものでパネルには赤煉化石を使用してある。而して此の舊建物の正面丈けを84呎移動する工事は紐育市フアウンデー

ションコンパニーの手に依つて種々研究の結果次の如き方法によつて工事を進める事になつた。

舊建物の正面全部を丈夫な材木の框を以て壁の表裏より堅く圍み、この木製框材はドリールにて壁越しに穴を穿ちボルトにて締付けそして壁の兩方へ20呎宛出てるアイビームニードルスに取付けられた。

此のニードルスはアイビームにボルト付したものである。移動中に煉瓦壁に龜裂を防ぐ爲め此の木材は堅固に壁に取付け、筋違及びガイワイヤーを適當に張つた。

滑臺は建物の下に12"×12" 角材を縦横平坦に



At any Bank Moves Facade of Old Building to Form Entrance of Modern Structure.

(4) 框にて剛い移動準備なれる舊正面の側面の景。

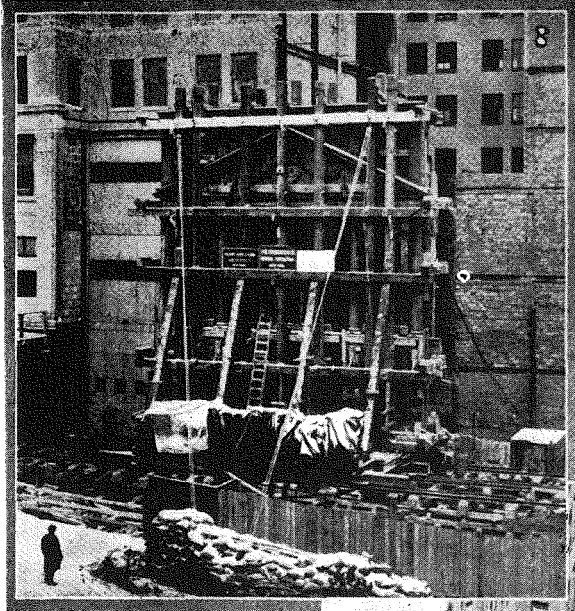
(5) 街路面より取外したる舊正面。



(6) 舊ビルディングの床より持ち揚げたる舊正面。

(7) 框剛を持揚の方法を示す。

列べた、而して150噸捲チャツキスクリユー100臺をアイビームと滑臺との間に入れて支へ、而して抜續した壁を破壊した後、約4呎6吋程持揚げて、直徑2吋丸鋼鐵のローラーを列べ其上に靜かに卸した。



(8) 舊ビルディングの正面を4時間内に移動しつつある景。

(9) 新らしき位置に押揚げる前の側面の景。



移動は6本ワイヤの鋼鐵タツクル、ブロックを使用し2ドラム式ホイスを使用した。

移動時間は僅かに4時間であつたが、其準備工事は約2週間半を要した。

正面の移動が終り豫定の位置に達した時、グラナイトの根接及び煉瓦積み全部グラウトにて舊正面の半部を固め約10日間セットさせた。2本の鋼鐵柱を舊正面壁の裡に建て、其一方を新建築物の鐵骨に、他の一方を正面マーソソリーにUボルトで取付た、煉瓦及び石材は新舊の表面を垂直なる様に積上げ、そして木框を取り外した。

(Construction Methodヨリ)

× × ×